TK正人の業界コラム･･･【左目は千里眼】(2018 年 09 月 30 日)

タイトル～＜遂に「全日遊連加盟店舗」の【設置台数が400万台】を下回った！＞

■「全日遊連加盟店舗」の過去歴史を振り返ってみる。

●【店舗数の推移】

2年前、【2016年の課題】として、当初年頭に取り上げていた＜店舗数＝1万店舗割れ＞問題だが、『2016年はかろうじて耐えた』と言ったものの、翌2017年1月末には、『とっとと1万店舗を下回った』結果となり、今年2018年は「9、681店舗」からのスタートとなった。

＜全日遊連営業店舗の推移＞

年度		営業店舗数				新規店数	廃業		年末設置台数(万台)			1店舗台数		参加人口
		1月1日	⇒	12月31日	店舗差		店舗数	対新倍率	P	S	合計	台数	増減	(万人)
平成19年	2007年		⇒	12,503	***	330	1,299	394%	276	154	430	344	***	1,450
平成20年	2008年	12,503	⇒	11,964	-539	279	911	327%	283	138	421	352	8	1,580
平成21年	2009年	11,964	⇒	11,672	-292	247	532	215%	293	127	420	360	8	1,720
平成22年	2010年	11,672	⇒	11,522	-150	249	398	160%	293	128	421	365	6	1,670
平成23年	2011年	11,522	⇒	11,314	-208	197	332	169%	286	135	421	372	7	1,260
平成24年	2012年	11,314	⇒	11,177	-137	207	362	175%	280	144	424	379	7	1,110
平成25年	2013年	11,177	⇒	10,953	-224	195	434	223%	276	148	424	387	8	970
平成26年	2014年	10,953	⇒	10,661	-292	173	426	246%	270	151	421	395	8	1,150
平成27年	2015年	10,661	⇒	10,325	-336	148	507	343%	265	152	417	404	9	1,070
平成28年	2016年	10,325	⇒	10,011	-314	98	403	411%	257	153	410	410	6	940
平成29年	2017年	**10,011**	⇒	9,681	-330	123	452	367%	**250**	**156**	**406**	419	10	900
平成30年	2018年	**9,681**	**⇒**	**9,300**	-381	100	450	450%	**247**	**152**	**399**	429	10	880

※2018年の数値は、「2018年年頭」での、【TKC予測】の数値となっています。

●【設置台数の推移】

今年年頭での「1月･JAPaN勉強会」にて、【2018年の課題】として取り上げたテーマが、**【全日遊連･遊技機設置台数＝400万台割れの危機】**について･･･でした。

上記年表の2018年の数値は、**私の「2018年末の数値」としての予測値**でしたが、私の想定よりも加速的に早く結果が出て、『8月末で400万台を下回った！』と言う結果になりました。正直なところ『完全に想定外の数値』であり、「全国的現状を読み切れていない」と言う、自分の情けない現実すら感じてしまった。(涙)

■では、その「全日遊連の発表値」を再確認してみよう。

先日、「全日遊連」から、【2018年8月末現在】での、加盟ホール現在状況のまとめが発表された。

＜店舗数＞･････9，393店舗 (※今年の推移で「－288店舗減」となった)
＜設置台数＞･･･「パチンコ＝2，448、594台」 (※今年の推移で「**－約5万台**減少」となった)
「スロット＝1，547，035台」 (※今年の推移で「**－約1万台**減少」となった)
【合計＝3，995，666台】(※「その他の遊技機＝37台」が含まれる)事になった

「詳細動向」としては、『パチンコ台数の減少が、「年間7万台減」のペースが変わらない』(私は、もうちょっと耐えられると思っていたのに･･･)事と、『スロットの台数は店舗数減少の割に対して低い減少率』であり、『台数減少は、来年以降に先送りされている』ものと考えられます。(私は、「みなし機撤去」も含め、もっと「圧縮効果の為の台数減」があると思っていた)

無論、「店舗数減少の実数」は、単純に「＝閉店した店舗数」では無く、＜閉店店舗数－新規店舗数＞であるので、新登録店舗が、大型店舗(特にスロット設置台数が大きくなっている)の出店でリカバーされていると推測される。

■併せて、【健全化推進機構】の登録店舗数を確認してみる。

「一般社団法人　遊技産業健全化推進機構」のホームページ(トップページ)を見てみよう。
＜機構の主旨に賛同したホール＞として、9月29日(土曜日)現在で【10，228件】となっている。つまり『全日遊連非加盟のホール数は、ざっくり「840店舗」程度ある』と言う事になる。

また、昨年末(＝今年1月1日)の【警察庁発表の遊技機台数】を見ると、「パチンコ＝2，749，532台」「スロット＝1，687，084台」の**【合計＝4，436，616台】**・・・と発表されている。この数値は、全日遊連の昨年末発表値から、『合計設置台数で、「＋約38万台**(＝1．09倍)**」程度の差がある』事になります。
つまり、**『全日遊連の数値に、「1．09倍」すれば、ほぼ全国の台数の実数値になる』**と思われます。結果的には、リアルな【全国の遊技機台数は、435万台】と言う事になるでしょう。

■「全日遊連店舗数」は減少し続けるのだろうか？

正直、どなたが考えても、『店舗数の減少は止まらない』と思っているでしょうし、無論、私もその中の一人です(汗)
近々の課題は、今年当初「9，681店舗」だった店舗数が、『今年12月末で、何店舗まで減少してしまうのか？』になりますが、**8月末で「9，393店舗」と言う事は【月平均36店舗減】**となる。こうなると**「残り4ヶ月で100店舗減」**が想定範囲となる訳で、当初の予想とした「9，300店舗」も現実化してしまう事となる。・・・と言うか、なりそうですね(汗)

まだまだ先の話ですが・・・更に**来年度「2019年」の話**をしてしまうと、『閉店・開店の差引だけの話にならない』可能性もある。1つの要因は、10月想定される【消費増税】問題があり、想定事案として**【貸玉料金の外税化】**に伴う【原価率(交換率)の変更】問題がある。その際、**結果的に『組合を脱退する』動き**があるかもしれない。そうなると、「閉店店舗＋脱退店舗」が発生する事で、『想定よりも加速的な減少スピードとなる』事もあり得る。
こんな事があれば、『全日遊連加盟店舗の減少が、遂に年間500店舗超えに』なんて事も妄想されてしまう(汗)

■この先の課題は・・・全国規模での【2つの数字】になる。

いずれにしても、**この先の課題は「2つ」**ある。その一つは**【全国の店舗数・1万店舗割れ】**、もう一つは**【全国設置台数・400万台割れ】**の推移となるだろう。先に訪れるのは【全国の店舗数・1万店舗割れ】の方だが、これを正確に把握するには、翌年の「警察庁発表」を待つしかない。しかし前述した＜全国係数＝1．09＞を引用する事で、全日遊連の数字から想定する事が出来る。つまり【全国10，000店舗÷係数1．09＝9，174店舗】となるので、全日遊連の店舗数が【9，174店舗】が、「全国10，000店舗の分岐点」となります。
まぁ、「健全化機構の店舗数の推移」を見ていれば、ほぼ正確に分かる事ではありますが・・・(汗)

併せ、**【全国の遊技機設置台数＝400万台】**を検証するならば、同様に「400万台÷係数1．09」から、【全日遊連＝367万台】が、『遂に、全国400万台割れ！』のボーダーラインとなります。
とは言え、全日遊連の数値で「あと33万台減少」となる数値ですから、平均推移では『あと3年以上はかかる』事になります。よって、**『全国400万台割れ！』のコラムを書く事は、早々に訪れる事は無いでしょう。**

＜このコラムは、*無料コンテンツ* に該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください＞
＜また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします＞

TKC～【法人セミナー】のご案内

「TKCセミナー」は、基本的に「単一法人様」または「団体」での勉強会となります。
各法人・団体様の意向を踏まえ、内容はカスタマイズさせて頂きます。
※組合様等の場合、内容にて摺り合せが必要な場合がございますので、ご相談させて頂く事となります。

＜日　時＞:ご依頼会社様の希望とのご相談の上、決定させて頂きます
＜場　所＞:ご依頼会社様にて、手配をお願い致します。
※関西エリアにおいては「大阪元町・スリーストン大阪営業所」開催は可能（概ね15名まで）
＜時　間＞:「1日＝4～5時間」が基本となります。（休憩含む拘束時間です）
＜費　用＞:基本価格～「1開催＝15万円」となります。（※只今、「TKC会員様＝10万円」となります）
＜内　容＞:ご依頼会社様とのご相談の上決定させて頂きます。
※基本的内容は、「業界情報」・「パチンコ運用」・「店舗全体運営」の内容が中心となります。
※**「業界動向セミナー」**は、随時必要なタイミングにての開催を推奨いたします。
※**「パチンコ・係数管理運用セミナー」**は、2回～3回（月1回）の連続開催を推奨いたします。
＜その他＞:交通費（長野県長野市から）・宿泊費は別途請求となりますのでご了承くださいませ。

～＜セミナーのカスタマイズ＞について～
⇒【勉強会開催において、多岐に渡るセミナー内容を同時開催したい場合】等。
弊社内容の他、「スロット運用」・「マーケティング情報」等々、内容のご希望がありましたらご相談下さい。
同日（または別日）、別コンテンツの専門的講師の推薦紹介させて頂き、同時（別日）開催となります。
（※この場合、別途講師費用と諸経費が加算されますので、ご了承くださいませ）

＜お問い合わせ＞
弊社代表「髙橋正人」まで、ご連絡下さいませ。
【メールアドレス】:info@tkc-g.jp
【電話連絡】:（会社）026-256-9677　（携帯）090-3063-1757

****
有限会社　トータル・ノウ・コネクションズ
住所：長野県長野市南堀５３０－５
TEL：026-256-9677　FAX：026-256-9688
ホームページ　http://www.tkc-g.jp
メールアドレス　info@tkc-g.jp
****